

平成29年3月31日現在の既存病床数等

基準病床数及び既存病床数					(参考) 平成37年の必要病床数推計
病床種別	区域	基準病床数 (平成28～29年度) A	既存病床数 (平成29.3.31現在) B	差引数 【整備可能病床数】 C=A-B	
一般病床及び療養病床	名古屋医療圏	16,828	20,230 (20,239)	△ 3,402 (△ 3,411)	22,039
	尾張中部医療圏	1,070	862	208	
	海部医療圏	1,614	1,953	△ 339	
	尾張東部医療圏	3,952	4,438	△ 486	
	尾張西部医療圏	3,676	3,666 (3,691)	10 (△ 15)	
	尾張北部医療圏	5,412	4,900 (5,140)	512 (272)	
	知多半島医療圏	3,131	3,266	△ 135	
	西三河北部医療圏	2,894	2,401 (2,751)	493 (143)	
	西三河南部東医療圏	2,950	2,263 (2,663)	687 (287)	
	西三河南部西医療圏	4,508	4,683 (4,688)	△ 175 (△ 180)	
	東三河北部医療圏	477	450	27	
	東三河南部医療圏	6,284	6,482 (6,487)	△ 198 (△ 203)	
	計	52,796	55,594 (56,628)	△ 2,798 (△ 3,832)	
	精神病床	全 県 域	11,525	12,609	
結核病床	全 県 域	183	181	2	
感染症病床	全 県 域	76	72	4	

注1 各欄に()で掲げた数は、承認済の病床整備計画を反映した場合の病床数である。

注2 既存病床数には、平成18年12月31日以前に開設した有床診療所の病床、一般住民に対する医療を行わない等の一定の病床(職域病院等である病院の病床数、医療型障害児入所施設等)は含まれない。

なお、無菌病室、集中治療室(ICU)及び心臓病専用病室(CCU)の病床に収容された者が利用するための病床を含む。(含まない場合の既存病床数等は、「比較参考」を参照)

注3 「平成37年の必要病床数推計」は、本県の地域医療構想において、将来必要と見込まれる病床数の必要量である。

<比較参考>

平成29年3月31日現在の既存病床数等

基準病床数及び既存病床数					(参考) 平成37年の必要病床数推計
病床種別	区域	基準病床数 (平成28～29年度) A	既存病床数 (平成29.3.31現在) B	差引数 C=A-B	
一般病床及び療養病床	名古屋医療圏	16,828	19,853 (19,862)	△ 3,025 (△ 3,034)	22,039
	尾張中部医療圏	1,070	862	208	
	海部医療圏	1,614	1,920	△ 306	
	尾張東部医療圏	3,952	4,438	△ 486	
	尾張西部医療圏	3,676	3,611 (3,636)	65 (40)	
	尾張北部医療圏	5,412	4,832 (5,072)	580 (340)	
	知多半島医療圏	3,131	3,235	△ 104	
	西三河北部医療圏	2,894	2,370 (2,720)	524 (174)	
	西三河南部東医療圏	2,950	2,235 (2,635)	715 (315)	
	西三河南部西医療圏	4,508	4,584 (4,589)	△ 76 (△ 81)	
	東三河北部医療圏	477	450	27	
	東三河南部医療圏	6,284	6,434 (6,439)	△ 150 (△ 155)	
	計	52,796	54,824 (55,858)	△ 2,028 (△ 3,062)	
	精神病床	全 県 域	11,525	12,609	
結核病床	全 県 域	183	181	2	
感染症病床	全 県 域	76	72	4	

注1 各欄に()で掲げた数は、承認済の病床整備計画を反映した場合の病床数である。

注2 既存病床数には、平成18年12月31日以前に開設した有床診療所の病床等が含まれていない。

注3 「平成37年の必要病床数推計」は、本県の地域医療構想において、将来必要と見込まれる病床数の必要量である。